

別紙 3 6

【薬効分類】 6 2 5 抗ウイルス剤

【医薬品名】 エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>次の薬剤を投与中の患者：カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、アスナプレビル、シンバスタチン、ピモジド、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル（アドシルカ）、ブロナンセリン、アゼルニジピン、リバーロキサバン、トリアゾラム、ミダゾラム、ロミタピドメシル酸塩、テラプレビル</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>次の薬剤を投与中の患者：カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、リファンピシン、<u>アパルタミド</u>、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、<u>エンザルタミド</u>、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、アスナプレビル、シンバスタチン、ピモジド、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル（アドシルカ）、ブロナンセリン、アゼルニジピン、リバーロキサバン、トリアゾラム、ミダゾラム、ロミタピドメシル酸塩、<u>エプレレノン</u>、テラプレビル</p>
<p>10. 相互作用</p>	<p>10. 相互作用</p>
<p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p>	<p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p>

<p>薬剤名等</p> <p>カルバマゼピン フェノバルビタール フェニトイン ホスフェニトイン リファンピシン セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort : セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品</p>	<p>臨床症状・措置方法</p> <p>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。</p>	<p>機序・危険因子</p> <p>これら薬剤のCYP3A及びP-gpの誘導作用によるため。</p>	<p>薬剤名等</p> <p>カルバマゼピン フェノバルビタール フェニトイン ホスフェニトイン リファンピシン アパルタミド セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort : セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品</p>	<p>臨床症状・措置方法</p> <p>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。</p>	<p>機序・危険因子</p> <p>これら薬剤のCYP3A及びP-gpの誘導作用によるため。</p>
<p>(新設)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1133 818 1352 858">薬剤名等</th> <th data-bbox="1357 818 1778 858">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1783 818 2002 858">機序・危険因子</th> </tr> </thead> </table>		薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子		
	<p><u>エンザルタミド</u></p>	<p><u>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。</u></p>	<p><u>エンザルタミドのCYP3A誘導作用によるため。</u></p>		
<p><u>エプレレノン</u></p>	<p><u>エプレレノンの血中濃度が上昇し、血清カリウム値の上昇を誘発する可能性がある。</u></p>	<p><u>コビシスタットのCYP3A阻害作用によるため。</u></p>			